

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	釧路短期大学
設置者名	学校法人緑ヶ岡学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	生活科学科 生活科学専攻		0	6	68	74	7	
	生活科学科 食物栄養専攻				28	34	7	
	幼児教育学科				62	64	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 Web ページ[情報公開][修学上の情報-授業科目、授業方法及び内容、年間授業計画]で公開している
<http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/syllabus/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	釧路短期大学
設置者名	学校法人緑ヶ岡学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>本学 Web ページ[情報公開][学校法人の情報公開]で公開している http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役社長	令和6年5月 31日から令 和8年5月 30日	理事長：当法人を代 表し業務の総理
非常勤	社会福祉法人理事長 (前職)	令和6年5月 31日から令 和8年5月 30日	理事：学外からの視 点での経営分析や 提言
非常勤	株式会社 代表取締役社長	令和6年5月 31日から令 和8年5月 30日	理事：学外からの視 点での経営分析や 提言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	釧路短期大学
設置者名	学校法人緑ヶ岡学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>以下の流れで授業計画を作成、公表している</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 09 月 次年度の内容を教務委員会にて確定 ◆ 10 月 教授会に上程 ◆ 11 月 科目担当教員に執筆依頼 <p>科目担当者は執筆マニュアルに沿って Web 入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1 月 原稿とりまとめ ◆ 2 月 機関決定 (学科長・教務委員長による執筆内容の確認、学長承認) ◆ 4 月 Web ページ公表 <p style="padding-left: 40px;">新入生にオリエンテーションで説明 2 年次学生に変更科目があった場合、明示</p> <p>※各科目担当者は、授業計画の執筆時に翌年度に向けた授業改善事項も提出する</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web ページ[Web シラバス]で公開している https://syllabus.kushiro-jc.net/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針(学科専攻別)に示す学位授与要件を構成する学修成果の要素・内容を、各授業科目の学習内容として配分し、共通教養科目・学科専攻専門教育科目・免許資格専門科目なる教育課程を編成している。</p> <p>各授業科目で設定している学修成果(到達目標)の達成度を評価するため、授業科目の内容・レベルや授業形態等に応じた成績評価の方法を決定し(筆記試験、実技試験、レポート、観察評価ほかの客観的評価方法)、また、それらの組み合わせ方法なども明確にし、シラバスにてあらかじめ明示したうえで、厳格で適正な評価を行い、単位を授与している。</p> <p>これにより、単位の修得は当該科目の学修成果を所定のレベル以上で獲得したことを、また、S(100 点中 90 点以上)・A(同 80 点以上)・B(同 70 点以上)・C(同 60 点以上)・F(同 60 点未満:単位不認定)という成績評価は学修成果の獲得の度合いの高低を示すものになっている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生に配付する学生便覧の履修ガイド中に単位認定（成績・評価）に関して「成績評価とグレードポイント（GP）」、「GPAの算出」、「成績通知」を記述して周知している。

【成績評価とグレードポイント（GP）】

区分		評点	評価	GP	評定内容
GPA 対象	合格	90-100 点	S	4	特に優れた成績である
		80-89 点	A	3	優れた成績である
		70-79 点	B	2	概ね妥当な成績である
		60-69 点	C	1	合格に必要な最低限度を満たした成績である
	不合格	0~59 点	F	0	合格には至らない成績である
GPA 対象外		-	認定	-	他大学等で履修した単位を認定

【GPAの算出】

GPAは、グレードポイント（GP）と履修単位数（不合格も算入）により、下記の計算式で求めます。

$$\frac{S \text{ の履修単位数} \times 4 + A \text{ の履修単位数} \times 3 + B \text{ の履修単位数} \times 2 + C \text{ の履修単位数} \times 1}{\text{総履修単位数 (F 評価の科目を含む)}}$$

※成績の分布状況は添付資料に示す

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本学Webページ[情報公開][修学上の情報—修了の認定に当たっての基準]で公開している
<http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/certification/index.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定に関する方針（学位授与の方針）を、教育目標、学ぶ内容や獲得できる学修成果などの違いを踏まえて学科専攻別に定めている。

それら学位授与の方針に則って、既定の要件を満たした場合に卒業を認定し学位を授与している。その要件とは、①本学の学科専攻に2年以上在学、②学則に定める単位を修得することで学科専攻の教育目的および教育目標を達成、③学科専攻別にそれぞれ大きく3つに分類した知識・技能・資質等の学修成果の獲得（獲得すべき学修成果は、学科専攻のカリキュラムマップでより具体的に示し、さらに各授業科目の到達目標で詳しく示している）。

③で示した学科専攻別に獲得すべき学修成果の大分類は、生活科学科生活科学専攻：「家庭・地域・職業等生活全般を理解・改善するための知識と技能」「地域社会の現状と課題に関する知見、地域社会を活性化・改善・創造する知見と意思」「職業人として地域社会に貢献するために要するビジネスマナーと常識、実務知識・技能、コミュニケーション力、社会人基礎力」、生活科学科食物栄養専攻：「健康、人体、食品、栄養分野の専門知識と技能」「社会変化に対応するための情報収集力、問題解決力」「人々の健康生活に係わる職業人として信頼関係を構築するためのコミュニケーション力、集団行動力、社会人基礎力など地域社会に貢献する力」、幼児教育学科：「広い幼児教育・保育の知識と技能をもつ」「保育者に相応しい豊かな人間性と感性をもつ」「子どもの生活環境や生活文化を向上する姿勢をもつ」である。

また、学修成果の達成状況は、本学のアセスメント・ポリシー（学修成果査定の方針）に従い、多面的かつ多時点で査定し、学生が、卒業までにより高いレベルでの学修成果を達成できるよう取り組んでいる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学Web ページ[情報公開][修学上の情報 - 教育に係る3つ
の方針] で公開している
<http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	釧路短期大学
設置者名	学校法人緑ヶ岡学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 Web ページ [情報公開] [学校法人の情報公開] で公開している http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html
収支計算書 又は損益計 算書	本学 Web ページ [情報公開] [学校法人の情報公開] で公開している http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html
財産目録	本学 Web ページ [情報公開] [学校法人の情報公開] で公開している http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html
事業報告書	本学 Web ページ [情報公開] [学校法人の情報公開] で公開している http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html
監事による 監査報告 (書)	本学 Web ページ [情報公開] [学校法人の情報公開] で公開している http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	
中長期計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : 本学 Web ページ [情報公開] [自己点検評価報告書等] http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/others/jikotenken/index.html (直近は『令和5年度釧路短期大学自己点検・評価報告書』(令和4年度))
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 : 一般財団法人短期大学基準協会 Web ページ「令和4年度評価結果」 https://www.jaca.or.jp/service/college/report/r4/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生活科学科 (生活科学専攻・食物栄養専攻)
教育研究上の目的 (公表方法: 本学 Web ページ[情報公開][教育研究上の基礎的な情報 - 学科・専攻名、教育研究上の目的]) http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/education_study/gatsuka/index.html
(概要) ・生活科学専攻 家庭・地域・職業等生活全般を理解・改善するための幅広い知識・技能を修得し地域社会の創造に係わることができる人間性豊かな人材の養成 ・食物栄養専攻 ライフステージに対応した健康な生活を創造できる食と栄養の知識・技能を有し地域社会に貢献できる人間性豊かな人材の養成
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 本学 Web ページ[情報公開][教育に係る 3 つの方針 (学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受け入れ)]) http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html
(概要) 「学位授与の方針」 ・生活科学専攻・食物栄養専攻共通 当該専攻に 2 年以上在学し、学則第 16 条に定める単位を修得し、以下に掲げる知識・技能・資質等の学修成果を獲得した者の卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。 ・生活科学専攻の学生が獲得すべき学修成果 生活全般を理解・改善する知識と技能／地域社会の現状と課題への知見および地域社会創造する知見と意思／職業人として地域に貢献するためのビジネスマナー・常識、実務知識・技能、コミュニケーション力、社会人基礎力 ・食物栄養専攻の学生が獲得すべき学修成果 健康・人体・食品・栄養分野の専門知識と技能／社会変化に対応できる情報収集力・問題解決力／人々の健康生活に係わる職業人として信頼関係を構築できるコミュニケーション力・集団行動力・社会人基礎力など地域社会に貢献する力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 本学 Web ページ[情報公開][教育に係る 3 つの方針 (学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受け入れ)]) http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html

(概要)

「教育課程編成・実施の方針」

・生活科学専攻

共通教養科目を配置し、人間・社会・世界に係る理解を深めて専門的学習に向けた基礎知識を修得／専門教育科目として、教養、地域、ビジネス・職業的知識および技能に係る科目を配置し、家庭・地域・職業等の生活に有用な知識・技能・資質を修得／地域社会活性化活動の実践に向けた科目を設置し、社会性・集団行動力、考察力、分析力、発信力などの社会人基礎力を修得／各科目の目的・目標に応じて、講義科目・演習科目・実習科目を配置し効果的な学修を展開／学修の成果の社会的通用性を示す諸資格取得に資する科目を配置し、専門的知識・技能を修得

・食物栄養専攻

共通教養科目を配置し、人間・社会・世界に係る理解を深めて専門的学習に向けた基礎知識を修得／専門教育科目として栄養士免許必修科目を中心に、メディカルクラーク（医科）、社会福祉主事任用資格取得のための科目を配置し、確かな専門知識と技能の修得／各科目の目的・目標に応じて、講義科目・演習科目・実験および実習科目を配置し効果的な学修を展開／地域社会で求められる情報収集力、問題解決力、コミュニケーション力、集団行動力および統率力の修得

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：本学 Web ページ[情報公開][修学上の情報 - 教育に係る 3 つの方針 (学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受け入れ)])

<http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html>

(概要)

「入学者受け入れの方針」

・生活科学専攻

期待する入学者：次のような関心・意欲・意思をもつ人物

社会の動向や日常生活に関心と理解・改善の意欲／地域社会の現状への関心と活性化などに係わる意思／仕事に関わる知識・技能、コミュニケーション力、社会人基礎力を身につけ、自立した職業人として地域社会に貢献する意欲

高校で力を入れ、成果を挙げていただきたいこと

国語、英語、社会、理科、情報、家庭、数学などの幅広い基礎学力の習得（とくに、日本語文章読解力および表現力を含む言語コミュニケーション力習得）／日常的に新聞を読むことや幅広い読書を通じて人間と社会に関心をもつこと／ビジネス実務に有用な外国語、簿記、情報処理等の資格取得／ボランティアを含む地域での活動経験

・食物栄養専攻

期待する入学者：次のような関心・意欲・意思をもつ人物

健康、人体、食品、栄養分野を専門的に学ぶことへの意欲／周囲の人と協力、協調してものごとを遂行する意思／地域の人々の健康増進に学修成果を生かす意欲

高校で力を入れ、成果を挙げていただきたいこと

国語、理科、家庭、数学、情報、英語などの基礎学力の習得（とくに、日本語文章読解力および表現力を含む言語コミュニケーション力習得）／サークル、ボランティア活動などを通じて得る高いコミュニケーション力／健康・人体・食品・栄養分野に関心を持ち、新聞や本を読む／日頃から調理に親しむ

学部等名 幼児教育学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：本学 Web ページ[情報公開]「教育上の基礎的な情報 - 学科・専攻名、教育研究上の目的」)</p> <p>http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/education_study/gatsuka/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>次世代を担う子どもの心身の健全な育成をはかるため、専門的な知識や技術の学びを通して、豊かな人間性と感性を持った保育者の養成を目指すと共に、地域社会における子どもの生活環境や生活文化の向上に努めようとする態度及び実践的能力を養うこと</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：本学 Web ページ[情報公開][修学上の情報 - 教育に係る 3 つの方針 (学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受け入れ)])</p> <p>http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>「学位授与の方針」</p> <p>本学科に 2 年以上在学し、学則第 16 条に定める単位を修得し、以下に掲げる知識・技能・資質等の学修成果を獲得した者の卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育学科の学生が獲得すべき学修成果 広い幼児教育・保育の知識と技能／保育者に相応しい豊かな人間性と感性／子どもの生活環境や生活文化を向上する姿勢
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：本学 Web ページ[情報公開][修学上の情報 - 教育に係る 3 つの方針 (学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受け入れ)])</p> <p>http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>「教育課程編成・実施の方針」</p> <p>共通教養科目を配置し、人間・社会・世界に係る理解を深めて専門的学習に向けた基礎知識を習得／専門教育科目として、保育者養成に必要な知識および技能に係る科目を配置し、子育て、子育て支援および職業生活に有用な幅広い知識と視野を修得／各科目の目的・目標に応じて、講義科目・演習科目・実習科目を配置し効果的な学修を展開／近隣園と連携し、保育観察やグループ演習などで保育実践者から有形無形の学びを受ける実習指導の実施</p>
<p>入学者の受け入れに関する方針 (公表方法：本学 Web ページ[情報公開][教育に係る 3 つの方針 (学位授与、教育課程の編成・実施、入学者受け入れ)])</p> <p>http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/admission/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>「入学者受け入れの方針」</p> <p>期待する入学者：次のような関心・意欲・意思をもつ人物 子どもや他者への関心をもち、健やかな生活を支える意志／他者の考えを理解し、自分の考えを適切に伝える力／努力や協同によって、課題に前向きに挑戦する力／多様な学修歴や社会経験を活かし、保育者として人間性や能力・資質を高め続ける</p>

力

高校で力を入れ、成果を挙げていただきたいこと

国語、社会、音楽、図工、体育、家庭、情報、英語、数学、理科などの基礎学力の習得(とくに、日本語文章読解力および表現力を含む言語コミュニケーション力習得)／保育・福祉分野に関心をもち、新聞や本をよく読む／校内外の活動を通じて、多様な他者とのコミュニケーション力を高める

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

本学 Web ページ[情報公開][教育研究上の基本組織]

<http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
生活科学科	—	3人	1人	5人	0人	0人	9人
幼児教育学科	—	3人	1人	3人	0人	0人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		37人					37人
各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）		公表方法： 本学 Web ページ[情報公開] [修学上の情報－教員組織、各教員が有する学位及び業績] http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/study/degree/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活科学科	50人	28人	56.0%	100人	73人	73.0%	0人	0人
幼児教育学科	50人	26人	52.0%	100人	55人	55.0%	0人	0人
合計	100人	54人	54.0%	200人	128人	64.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活科学科	30人 (100%)	0人 (0%)	29人 (96.7%)	1人 (3.3%)
幼児教育学科	42人 (100%)	1人 (1.4%)	38人 (90.5%)	3人 (7.1%)
合計	72人 (100%)	1人 (1.4%)	67人 (93.1%)	4人 (5.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>以下の流れで授業計画を作成、公表している</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 09月 次年度の内容を教務委員会にて確定 ◆ 10月 教授会に上程 ◆ 11月 科目担当教員に執筆依頼 <p>科目担当者は執筆マニュアルに沿って Web 入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1月 原稿とりまとめ ◆ 2月 機関決定（学科長・教務委員長による執筆内容の確認、学長承認） ◆ 4月 Web ページ公表 <p>新入生にオリエンテーションで説明 2年次学生に変更科目があった場合、明示</p> <p>※各科目担当者は、授業計画の執筆時に翌年度に向けた授業改善事項も提出する</p> <p>--様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】から再掲--</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学では、卒業認定に関する方針（学位授与の方針）を、教育目標、学ぶ内容や獲得できる学修成果などの違いを踏まえて学科専攻別に定めている。</p> <p>それら学位授与の方針に則って、既定の要件を満たした場合に卒業を認定し学位を授与している。その要件とは、①本学の学科専攻に2年以上在学、②学則に定める単位を修得することで学科専攻の教育目的および教育目標を達成、③学科専攻別にそれぞれ大きく3つに分類した知識・技能・資質等の学修成果の獲得（獲得すべき学修成果は、学科専攻のカリキュラムマップでより具体的に示し、さらに各授業科目の到達目標で詳しく示している）。</p> <p>③で示した学科専攻別に獲得すべき学修成果の大分類は、生活科学科生活科学専攻：「家</p>
--

庭・地域・職業等生活全般を理解・改善するための知識と技能」「地域社会の現状と課題に関する知見、地域社会を活性化・改善・創造する知見と意思」「職業人として地域社会に貢献するために要するビジネスマナーと常識、実務知識・技能、コミュニケーション力、社会人基礎力」、生活科学科食物栄養専攻：「健康、人体、食品、栄養分野の専門知識と技能」「社会変化に対応するための情報収集力、問題解決力」「人々の健康生活に係わる職業人として信頼関係を構築するためのコミュニケーション力、集団行動力、社会人基礎力など地域社会に貢献する力」、幼児教育学科：「広い幼児教育・保育の知識と技能をもつ」「保育者に相応しい豊かな人間性と感性をもつ」「子どもの生活環境や生活文化を向上する姿勢をもつ」である。

また、学修成果の達成状況は、本学のアセスメント・ポリシー（学修成果査定の方針）に従い、多面的かつ多時点で査定し、学生が、卒業までにより高いレベルでの学修成果を達成できるよう取り組んでいる。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	生活科学科 生活科学専攻	62 単位	有・無	単位
	生活科学科 食物栄養専攻	62 単位	有・無	単位
	幼児教育学科	62 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

本学 Web ページ[情報公開][教育研究上の基礎的な情報]

<http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/php/disclosure/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	生活科学科 生活科学専攻	960,000 円	250,000 円	0 円	
	生活科学科 食物栄養専攻	990,000 円	250,000 円	0 円	
	幼児教育学科	960,000 円	250,000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 学費サポート 本学の制度（本学の奨学金制度、授業料分割・延納・減免制度）／学外機関の紹介（日本学生支援機構奨学金、民間業者との提携による分割制度、国の教育ローン）、 学修支援 学習環境を整備し学生の主体的・集団的な授業外学習を展開／ラーニングコモンズの利用を促進し自主的学修の定着を図る
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 就職サポートルーム設置：就職支援ナビゲーターとの連携を緊密化し早期の就職内定を図る 就職ガイダンス：社会理解の深化／自発的な就職活動の支援／自己分析・企業研究／キャリアビジョン作成／社会人マナー修得／就職活動支援（企業訪問・応募、面接・筆記等の受験対策その他） 就職講演会：外部講師による就業・就活セミナー／卒業生の体験報告会 編入学支援：編入学情報（四年制大学他）を広く提供／希望者への個別支援
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 学生相談室設置：学内の臨床心理士によるカウンセリング／学習相談・学生生活相談の担当者も配置し相談を受ける（学科専攻教員・ゼミ担当教員や教務・学生課が日常的に学生相談に応じる） 外部講師などによる多様な学生研修講座を実施 年度初めに健康調査を実施。問題を抱えた学生への早期支援を実施

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 Web ページ http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/index.html
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F201310100408
学校名 (〇〇大学 等)	釧路短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人緑ヶ岡学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		36人	32人	37人
内 訳	第Ⅰ区分	24人	22人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				37人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	-
計	人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。